

坂根 正弘氏 提出資料

(コマツ相談役)

平成26年9月19日(金)

まち・ひと・しごと創生会議

- 1. 地方活性化へのコマツの取組み**
- 2. 当会議立ち上げに際しての提案**

平成26年9月19日(金)

コマツ 相談役

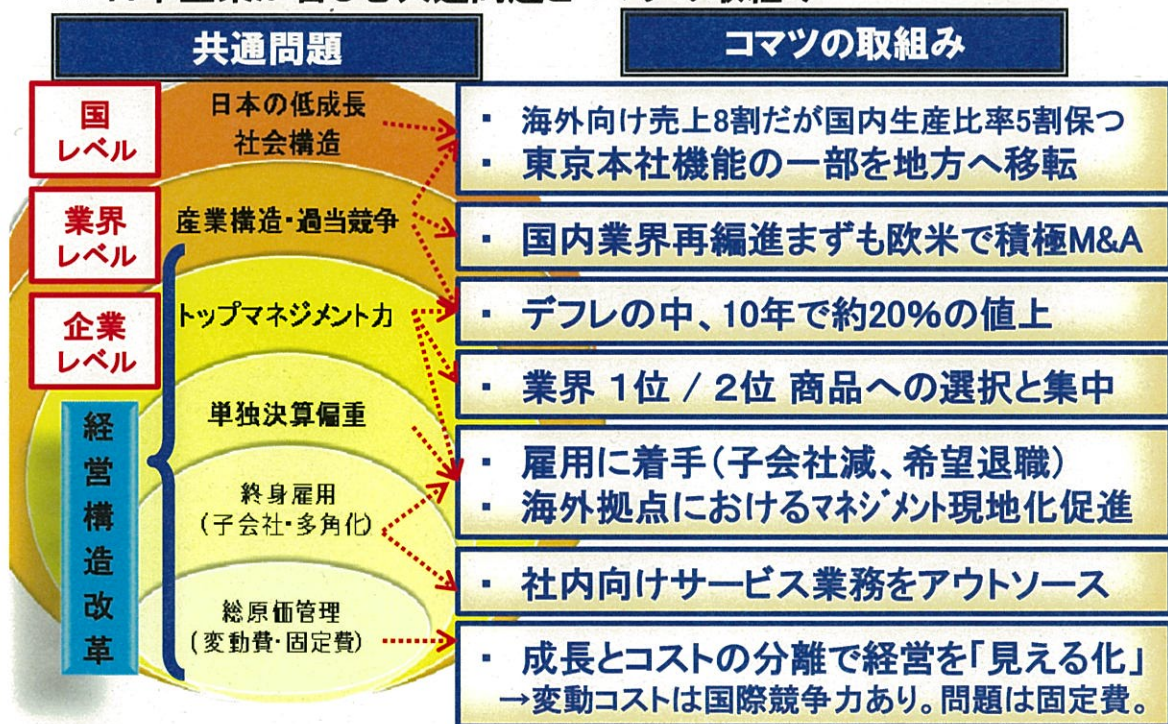
坂根 正弘

1. 地方活性化へのコマツの取組み

～コマツは日本の縮図～

- ①本社機能の東京集中
- ②東京一極採用
- ③輸出港に近い関東、関西に生産比重移す
- ④日本でのモノづくりに自信喪失、海外投資中心に

1. 日本企業が苦しむ共通問題とコマツの取組み



コマツ国内・海外
建機関連工場設立の歩み

●・・・M&A
○・・・工場設立、更新

	'85～	'90	'00	'10
海外	'85○アメリカ、○イギリス '87●ドイツ '88●アメリカ	'95○中国、○タイ、●イタリア '96●ドイツ、アメリカ '97●アメリカ	'00●アメリカ、○インドネシア '02○アメリカ '04●スウェーデン '07○インド、'08○ロシア、'09○中国	'11○中国
日本			'07○ひたちなか(茨城) '07○金沢(石川)	'14○粟津(石川)、○小山(栃木) ('15以降計画○大阪、○栃木)

日本の国際競争力に
自信を回復

2. 北陸におけるコマツの取組(2002～)

- 本社機能を小松市へ移転(購買、教育)
- 金沢港に工場建設(石川から輸出可能に)
- 現地での大卒採用開始(現地採用増)
- 地域交流を目的に「こまつの杜(もり)」竣工
- 農業、林業への技術支援を開始
- 電力90%減 新工場実現(小松市)

→10年前に比べコマツ社内で北陸の重みは増加傾向
《国内における北陸の占める割合》

	2004年実績	2013年実績	差異
生産 *1	33.7%	39.3%	+5.6%
社員数 *2	20.4%	29.5%	+9.1%

*1 コマツ連結(国内)、金額ベース。

*2 非正規社員含む、連結ベース。営業、サービス除く。

本社(東京)	大阪・北関東地区	石川地区	《参考》
			コマツ女性社員既婚率 (30歳以上)
コマツの既婚女性社員の子供の数			・東京 : 50%
・東京 : 0.7人	・大阪/北関東 : 1.2-1.5人(日本の平均)	・石川 : 1.9人	・大阪/北関東 : 70%
			・石川 : 90%

2. 当会議立ち上げに際しての提案

1) まち・ひと・しごと創生本部の取組と、
国家戦略特区諮問会議、
及び、規制改革会議との**連携**



各会議体の相乗効果が期待できる活動へ

2) 基礎自治体首長のあり方を改革

- ①自治体の活性度・行政効率をデータで「見える化」する。そうすることで、互いに競争心を持つようになり、本気度が高まる。
- ②改革に後ろ向きなほうが選挙に有利とならぬよう、本気度の高い首長を官民で徹底的に支援する。
- ③基礎自治体からボトムアップで取組み、都道府県と一体感を持った活動に繋げる。
- ④マイナンバー導入は「見える化」を押し進め、現在の非効率な行政のやり方を根本から改める絶好の機会と捉える。
→全国の行政の仕組をできる限り標準化